



訓練は本番のように 本番は練習のように 各校 避難訓練を実施

9月、町内の多くの学校で地震を想定した避難訓練が実施されました。各学校で状況に応じて正しく判断し行動しようと、訓練ができたようです。町内3小学校の訓練の様子をご紹介します。

<河口小学校> 2校時の時間帯に事前予告なしで実施

2校時の授業を受けていた子どもたちは、校内放送と先生方の指示をよく聞き、真剣に避難訓練を行うことができました。山下春美校長先生からは、「避難の時には上から物が落ちてくることもあります。周りをよく見て避難できるようにしましょう。」
「訓練は本番のように、本番は練習のようにできるようにしましょう。」とお話がありました。



<大嵐小学校> 昼休みに事前予告なしで実施

給食を終えて清掃に取り掛かったタイミングで訓練が行われました。古屋修宏校長先生からは、「今から102年前に、関東大震災が起こりました。起こった時間がちょうど正午前のお昼時だったため、地震の後にたくさんの火災が起こり多くの方が犠牲になりました。地震はいつ起きるか分かりません。自分の命を守る行動をとれるようにしましょう。」とお話がありました。



<小立小学校> 中休みに時間の事前予告なしで実施

大震災が起きた時、町内の学校は避難所となります。地震に強い建物であることから、小立小学校では大規模な地震が起きて揺れが収まった後、子どもたちが自分の教室へ避難する訓練が行われました。今回の訓練では、富士山科学研究所の研究員の先生方から専門的にアドバイスをいただいて実施されたようです。

中休みにそれぞれの場所で過ごしていた子どもたちは、まずは身の安全を守る行動をとりました。揺れが収まった後、先生方は子どもたちや校舎の安全確認を行いました。建物の安全が確認できた後に、子どもたちを先生方が各教室へ誘導しました。全員の安全が確認できたところで訓練終了となりました。教室へ戻る避難訓練を初めて行った子どもたちでしたが、先生方の指示に従い安全を確認しながら訓練を行うことができました。



危険な場所はコーンを置いて
通行止めになりました。



これまでの大震災からも分かるように、地震が起こった時には場所や時間帯によって更なる災害が発生する可能性があります。今回の訓練でも、どのように安全行動をとって自分の身を守るかを子どもたちは考えることができたようです。

夏休み学習応援教室 開催



勝山中学校



河口湖北中学校

夏休みが始まった7月下旬、町内各校で学習応援教室が開かれました。暑い中、進んで学習をしようとたくさんの子どもたちが参加しました。

学習応援教室は、町教育委員会が主催し、町教育センターが事務局を務めています。指導は、各校に配置されている町費負担職員、支援員、退職教員によって行われました。積極的に参加した子どもたちは、各自持ってきた宿題や課題に集中して取り組むことができました。分からない所は、指導者から丁寧に教えてもらうことができました。



船津小学校



河口小学校



小立小学校



町の教育長さんも直々にご指導してくださいました。

夏休みに 先生方も学習！ いろいろな研修会・学習会を行いました

子どもたちのよりよい学び、また充実した学校生活のため、先生方は様々な分野で研修を受けています。夏休みには町教育センターでも先生方を対象に研修会を開催しました。



Canva 研修会



情報教育スタートアップ研修会



郷土学習会

その他にも、情報教育コア研修会前半、コアPlus研修会、学びポケット研修会、ミライシード研修会を実施し、多くの先生方が参加しました。学校ではICT教育が盛んに行われており、先生方も研修を受けて学んでいます。2学期以降の授業に生かされることを期待します。

様子はいかがですか？

2学期がスタートして約1ヶ月が経ちました。お子様の様子はいかがでしょうか。町教育センターでは、教育相談を行っています。悩みを抱えている子どもたちをサポートし、居場所づくりを一番に考えて指導・支援を行っています。

【教育相談のご案内】 『困っていること 悩んでいること 相談してみませんか』

○時間帯 月曜日～金曜日 午前9：00～午後4：00

○場 所 中央公民館1階

○対 象 お父さん・お母さん・おじいさん・おばあさん・先生方・生徒・児童

○連絡先 富士河口湖町立教育センター TEL：0555-83-3022

E-mail：ed-center@kawaguchiko.ne.jp

